第３講　律令体制の展開と矛盾

PART３ 奈良仏教と奈良時代の文化

Chapter１　鎮護国家仏教

目標　南都六宗と後世に成立した宗派との違いについて知ろう。
鑑真が日本に招かれたのはなぜだろう？

1　国家仏教→鎮護国家＋現世利益

奈良時代の〔1　　　　〕**文化**は，平城京の皇族・貴族たちが担う華やかな貴族文化だが，
〔2　　　　　　〕**思想**の進展を反映する仏教文化でもある。
※遣唐使のもたらす**盛唐文化や西域の文化の影響が強く，国際色豊か**である。

①〔3　　　　　　〕
三論宗，成実宗，**法相宗**，倶舎宗，**華厳宗**，**律宗**の六宗派。
※教理研究の学派なので一つの寺院に複数の宗派が存在してもよい。

②南都七大寺
大安寺（もと大官大寺），元興寺（もと法興寺），薬師寺，**東大寺**，西大寺，
〔4　　　　　〕（藤原氏の氏寺），法隆寺（または唐招提寺）の七寺院。

③〔5　　　　〕の来日（753 年，淡海三船『唐大和上東征伝』より）
入唐した普照・栄叡の要請により，失明しながらも５度の失敗を乗り越え渡来。
戒律を伝え東大寺に戒壇院を建立し，聖武太上天皇・光明皇太后・孝謙天皇らに授戒。
のち〔6　　　　　　〕を創建し，そこで没した。
※東大寺（大和国），薬師寺（下野国），
観世音寺（筑前国）の戒壇を「本朝〔天下〕三戒壇」という。

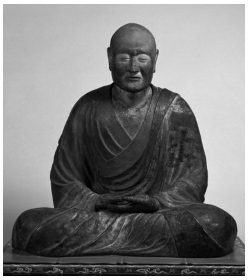
④社会事業
A　〔7　　　　〕→ 745 年に大僧正となるが大仏完成前に亡くなる
民間布教，架橋・治水，布施屋など救済施設の設置。
B　**光明皇后**
悲田院・施薬院など救済施設の設置。

⑤影響

A　国家財政の窮乏と人民の疲弊

B　**僧の政治介入**（玄昉・道鏡など）

C　**神仏習合**の発生



鑑真和上像

2　寺院建築

①東大寺法華堂〔三月堂〕

②**東大寺**〔8　　　　　　〕**宝庫→校倉造**

③法隆寺夢殿→東院伽藍の中心

④唐招提寺金堂

⑤唐招提寺講堂

正倉院宝庫

3　仏像彫刻

①**塑像**→粘土を塗り固めた像

A　**東大寺法華堂日光・月光菩薩像**

B　**東大寺法華堂執金剛神像**

C　**東大寺戒壇堂四天王像**

②**乾漆像**→麻布を漆で塗り固め原型を抜き取った像

A　**東大寺法華堂不空羂索観音像**

B　**興福寺**八部衆像→**阿修羅像**など

C　興福寺十大弟子像

D　**唐招提寺鑑真和上像**

E　唐招提寺金堂盧舎那仏像

F　聖林寺十一面観音像

興福寺阿修羅像

まとめ

南都六宗は宗派というよりも教理研究の学派だった。

朝廷は鎮護国家思想の下で仏教を広めるため，唐から鑑真を招いた。

Chapter 2　天平文化

目標
正倉院宝物の特徴について知ろう。
歴史書が編纂されたのはなぜだろう？

1　絵画・工芸

①絵画

A　**薬師寺**〔[1]　　　　　　〕**像**

B　**正倉院鳥毛立女屛風**→「樹下美人図」の構図

C　過去現在絵因果経→絵巻物の源流？

鳥毛立女屛風

②工芸

A　**正倉院宝物**

光明皇太后が東大寺に寄進した聖武太上天皇の遺愛品など。

シルクロード〔絹の道〕経由の西域の工芸品

（例：**螺鈿紫檀五絃琵琶**・紺瑠璃杯や「**正倉院文書**」など。）

B　百万塔陀羅尼

称徳天皇が恵美押勝の乱（764 年）の戦没者慰霊のため十の大寺に寄進した木製の小塔が百万塔。内部に納められた陀羅尼（経）は現存最古級の印刷物。

螺鈿紫檀五絃琵琶

百万塔と陀羅尼経

2 文芸・歴史・地誌・教育

①文芸

A 〔2 〕(751 年)

最古の漢詩集。当時の代表的漢詩人は淡海三船・石上宅嗣ら。

B 〔3 〕(8 世紀後半)

約 4500 首を収める**最古の和歌集**。漢字の音訓を用いて日本語を書き表す

万葉仮名を使用した,素朴で力強い万葉調〔ますらをぶり〕。

※天皇から東歌・防人歌など民衆の歌まで幅広く収録。

※当時の代表的歌人は山上憶良,山部赤人,大伴旅人,**大伴家持**ら。

②歴史・地誌

皇室による支配の正統性・正当性を示すために天武天皇が命じた歴史書の編纂が,

最終的に完成した。

A 〔4 〕(**712 年**,元明天皇の命で**稗田阿礼**の暗誦を**太安万侶**が筆録)

神代から推古天皇までを漢字の音訓を用いて表記した,**現存最古の歴史書**。

B 〔5 〕(**720 年**,元正天皇の命で**舎人親王**らが編纂)

神代から持統天皇までを正式な漢文の編年体で収録した正史

「**六国史**(日本書紀・続日本紀・日本後紀・続日本後紀・日本文徳天皇実録・

日本三代実録)」の始め。

C 〔6 〕(713 年,元明天皇の命で**各国の物産・地理・伝説を国司が編纂**)

出雲・常陸・播磨・肥前・豊後の「五風土記」が残存。

③教育

A 〔7 〕→中央に設置され式部省が管轄

貴族と渡来人の子弟らが優先的に入学。

8 ~ 9 世紀にかけて四道(明経道・明法道・算道・紀伝道)が確立される。

B **国学**→地方に設置され国司が管轄

郡司の子弟らが優先的に入学。

まとめ

光明皇太后が東大寺に寄進した聖武太上天皇の遺愛品などが正倉院宝物で,
シルクロード経由の西域の工芸品や,「正倉院文書」がある。
自らの支配の正統性・正当性を示すために歴史書が編纂された。

第３講 PART３ 確認問題

1 南都七大寺のうち，藤原氏の氏寺はどれか。

① 興福寺　② 薬師寺
③ 元興寺　④ 大安寺

2 日本に戒律を伝え東大寺に戒壇院を建立したのはだれか。

① 行基　② 玄昉
③ 鑑真　④ 良弁

3 校倉造が見られるのはどれか。

① 唐招提寺金堂　② 唐招提寺講堂
③ 法隆寺夢殿　④ 正倉院宝庫

4 仏像の製法のうち，乾漆像の仏像はどれか。

① 東大寺法華堂不空羂索観音像
② 東大寺戒壇堂四天王像
③ 東大寺法華堂執金剛神像
④ 東大寺法華堂日光・月光菩薩像

5 吉祥天像が納められている寺院はどこか。

① 東大寺　② 薬師寺
③ 正倉院　④ 興福寺

6 正倉院宝物に**関係のないもの**はどれか。

① 聖武太上天皇　② シルクロード
③ 百万塔陀羅尼　④ 螺鈿紫檀五絃琵琶

7 751 年に編纂された，現存最古の漢詩集はどれか。

① 万葉集　② 性霊集
③ 懐風藻　④ 文華秀麗集

8 舎人親王を中心に，漢文編年体で編纂された歴史書はどれか。

① 日本書紀　② 風土記
③ 古事記　④ 万葉集

第３講　PART３　確認問題 解答

1 解答：①

南都七大寺は，**大安寺**，元興寺（もと法興寺），薬師寺，**東大寺**，西大寺，**興福寺**，法隆寺（または唐招提寺）の七寺。

2 解答：③

鑑真は，入唐した普照・栄叡の要請により，失明しながらも５度の失敗を乗り越え渡来した。**行基**は民間布教や架橋・治水に努め，大仏造立への協力から大僧正となった。

3 解答：④

校倉造は，三角形の木材を井桁に積み上げる工法である。

4 解答：①

②～④は粘土を塗り固めた**塑像**である。**乾漆像**は麻布を漆で塗り固め原型を抜き取った像をいう。

5 解答：②

③の正倉院には，**鳥毛立女屛風**が納められている。

6 解答：③

正倉院宝物とは，光明皇太后が東大寺に寄進した聖武太上天皇の遺愛品などのことである。**螺鈿紫檀五絃琵琶**・紺瑠璃杯など，**シルクロード**〔絹の道〕経由の西域の工芸品なども納められている。③の百万塔陀羅尼は，称徳天皇が寄進した陀羅尼（経）。

7 解答：③

①の**万葉集**は現存最古の和歌集で，８世紀後半に編纂された。

8 解答：①

日本書紀は，六国史の第一である。